

特集展示・トピック展示のご案内

長崎歴史文化博物館は、2階常設展示室の展示替えを定期的に行っております。
是非、ご取材・情報掲載の程、宜しくお願い申し上げます。

特集展示「大地の肖像」



特集展示「大地の肖像」

会期：開催中 6月27日(水)まで

会場：特集展示室

(2階常設展示室 歴史文化展示ゾーン内)

時間：8:30～19:00 (最終入館18:30)

観覧料：大人600円、小中高校生300円

※県内小中学生は無料

自分たちはどのような場所に住み、生きているのか、そして世界にはまだ見ぬ地があるのではないかと—写真の技術が発明される以前より、江戸時代の画人たちは自らの眼前に広がる光景や空想の世界を様々な媒体のなかに創造しようと試みてきました。現代の私たちからすれば、それらは遠近法の未熟な解釈や誤った知識の集合体のように見えてしまう場合もあるかもしれませんが、ただ、今までの「山水画」とは異なる、新たなる景観表現の創出に挑戦しようとする好奇心がそこには込められていました。いわゆる「アート」としての風景画と言うよりも、日本や地球という自らが住む地についての理解を深めることで、より生活を豊かなもの(驚きあるもの)にしていこうと様々な工夫を凝らしていったのです。

諸国の文化が流入していく中で生まれた多種多様な大地像をお楽しみください。



《世界地図皿》当館収蔵

トピック展示

トピック展示「上野彦馬と写真術」

会期：開催中 7月16日(月)まで

会場：2階常設展示室 歴史文化展示ゾーン 近代の魁・長崎コーナー

時間：8:30～19:00 (最終入館18:30)

観覧料：大人600円、小中高校生300円 ※県内小中学生は無料

長崎出身の上野彦馬(1838-1904)は写真術の開祖と呼ばれています。彼は上野俊之丞(蘭学者、時計師で貿易商、写真術を日本に紹介)の子として生まれ、医学伝習所でポンペから舎密学(化学)を学び、写真技術を研究しました。更に外国人写真師から教えを受けるなど研鑽を重ね、1862年(文久2)には中島川河畔に上野撮影局を開業します。

現在開催中の「写真発祥地の原風景 長崎」展と合わせてお楽しみください。

